



知恵を出し合って、暮らしイキイキ。

2004

8

260YEN

【クリーム】CO-OP LIFE
INFORMATION MAGAZINE

それは遠い日の味がした。日なたのにおいと手のひらの
カタチ。母の笑顔がそこにあった。

特集
ふるさとの味を訪ねて

わたしの
おやつ。

料理
夏休みにつくろう！
ボクと
ワタシの
デリシヤス
ごはん

好評連載

大人の服飾計画
桜田弘文の直言御免
手作りがうれしいね

半屋外空間が生かされた沖縄の家

屋嘉比邸 沖縄県名護市

沖縄の夏はかなり暑いと思っ
ていたのだが、実はそうでもな
いらしい。設計者の福村俊治さ
んによると、真夏の最高気温で
32度程度。しかも風が吹くので、
家が開放できればクーラーはい
らないそうなのだ。

「夏はそんなに暑くないし、
冬も寒くない。本当は外がいち
ばん条件がいいんです。だから
沖縄で家を建てるなら、テラス
やパティオなど半屋外空間を

もっともつと活用すべきです。
年中使えるでしょ」
沖縄本島北部に広がる山原
の森を望む屋嘉比邸はその好例。
山の斜面にせり出した屋根付
きのデッキテラスは住居部分と
ほぼ同じ広さで、屋嘉比夫妻は
家での時間の大半をこの気持
ちのいい空間で過ごすという。

「沖縄の人は家にお金をかけ
る傾向にありますが、無理して
大きな家を建てるより、狭けれ
ば、それこそ半屋外空間をうま
く活用してコストを抑え、余っ
たお金で遊びに行けばいい(笑)。
それに家はもともと小さいほ
うが使い勝手がいいんです。収
納を増やすより物を少なくす
ることですよ」

屋嘉比邸は屋内のつくりも
非常にオープンだ。玄関を入っ
てすぐにキッチンがあり、リビ
ングダイニングがある。その向
こうにデッキテラスが広がり、
さらに玄関脇のシャワーとト
イレは来客用。いつもは開放し
ている和室も、戸袋から間仕切
りを引き出してくれば完全な
個室となり、泊まり客に対応で
きるようになってる。

ここまで受け入れ態勢が万
全なのだから、みんなが寄って
来ないわけがない。家を建てて
以来、屋嘉比邸は千客万来。週
末とは言わず、平日も人の出入
りが頻繁で、夫婦二人だけの生
活も勢い活気づく。

「最近では、こんな亜熱帯気候
の沖縄でも本土並みに大手ハウ
スメーカーの住宅が流行ってい
ます。寒冷地や大都市で有効
な高気密・高断熱住宅ですよ。
しかも防犯のために外部に対
しては閉じた空間になっている。
とても残念ですね」



内と外をつなぐデッキテラス。深い軒のおかげで、雨や日差しを気にせずに毎日の生活の場として最大限に活用できる。今年の正月はここから初日の出を拝んだそうだ。

県外出身の福村さんだから
こそよくわかる。あたたかな気
候風土、大らかで開放的な県民
性は沖縄の貴重な財産である
ことを。家づくりに生かさなく
てどうするのか、と。

毎朝日の出と共に目を覚まして、
朝食はこのデッキテラスで。
毎日が本当に快適ですね。



居住空間とほぼ同じ広さのテラスが居間代わり。台風や潮風による吹き上げが強いので深い軒は頑丈なコンクリート製に。



造成は最小限にして斜面に突き出すようにテラスを設けた。塩害防止のため、コンクリート外壁をタイル張りに。



やっぱりありました魔除けのシーサー！



屋根を芝で覆って日中の暑さを緩和。砂利敷きにして芝の生長を抑えているので、手入れがいらなそう。

ガラス張りのお風呂の向こうは山原の原生林。夫婦共に長風呂になったという。



居間・食堂・和室とテラスが一体化した開放的な空間。プライバシーを守るのは寝室だけでいいと福村さん。



見える収納棚には照明がついており、夜はお洒落なバーに变身する。



最初はおっと大きな家を望んでいた屋嘉比康也・徳子夫妻だが、今は「必要最小限でシンプルな家がほしい」。福村俊治さん(右)と。



close-up

台所奥の洗濯室&日用品収納室。その向こうはクロゼット。こういう舞台裏が充実しているからこそ、すっきりシンプルに暮らせる。

DATA

●完成/2003年12月●家族構成/夫婦●構造
規模/鉄筋コンクリート造平屋建(一部鉄骨造)●
敷地面積/1442㎡●1階床面積101㎡●総工費
/2100万円●設計監理費/210万円■設計/
福村俊治<チーム・ドリーム>沖縄県那覇市曙2
-14-12名建ビル4F ☎098-866-5038
<http://www.dream-archi.com>

